# 修繕実績は2年間で約4倍。修繕業務の高度化と技術継承の取り組みが評価
## ～「Creative Act. Award 2025」で『営繕 of the year（大賞）』を受賞～

東急プロパティマネジメント

## ■受賞の背景

当社修繕チームは、修繕業務の品質向上と技術継承を目的として、業務の見える化や標準化、新たな修繕領域への挑戦に継続的に取り組んでいます。
こうした取り組みが評価され、このたび東急グループが実施する「Creative Act. Award 2025」において、「営繕 of the year（大賞）」を受賞しました。

本表彰は、創造性や課題解決力、価値創出への貢献などの観点から優れた取り組みを表彰する制度です。当社修繕チームは、日々の現場業務から得られた知見を活かした業務改善や技術継承の仕組みづくり、修繕対応力の強化などが評価されました。

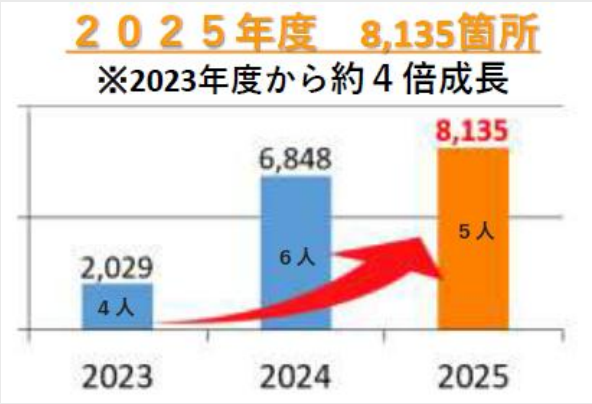




## ■取り組み事例

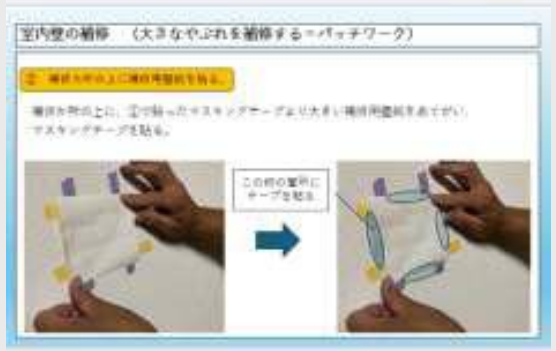
東急プロパティマネジメント

### ◆修繕実績の可視化推進による業務改革と顧客価値・ブランド価値向上の実現




営繕業務の見える化と修繕内容の体系化を推進し、業務品質と生産性を向上。修繕実績は2023年度2,029件から2025年度8,135件へ約4倍に拡大し、大幅な業務成長を実現した。

### ◆実務起点の手順書整備による技術継承



2022年度以降の直営修繕実績を基に実践的な小規模修繕補修マニュアルを整備し、品質の均一化や業務効率向上に加え、新規配属者の教育と技術継承を推進し、組織全体の技術力向上に貢献した。

### ◆新領域開拓による修繕業務の拡大

～Before～



～After～



小規模修繕分野の対応拡大と標準化を推進し、ドアノブ・郵便受け交換や客室壁面塗装を定着。川崎東急REIホテルで年間186室の塗装修繕を実施し、顧客満足度と品質向上に貢献した。

### ◆技術力向上による修繕業務の高度化

修繕技術力向上に向けて資格取得と技術習得を推進し、軽微修繕の内製化による品質向上と外注費削減を実現。技術教育や標準化を通じて人材育成を進め、組織全体の技術力向上に貢献した。

・ウッドリペアマイスター2級　　5名
・クロスリペアマイスター　　1名
・ウッドリペアマイスター1級　　1名

## ■今後の取り組み

当社修繕チームは、今回の受賞を一つの通過点と捉え、さらなる技術力および業務品質の向上に努めてまいります。現場で培った修繕ノウハウの共有と標準化を進めることで、組織全体の対応力強化と技術継承を推進してまいります。また、修繕実績の分析や業務改善活動を継続し、多様化するお客さまニーズに対して、より迅速かつ高品質なサービスの提供を目指します。修繕業務を通じて建物の資産価値の維持・向上に貢献するとともに、お客さま満足度のさらなる向上に努めてまいります。今後も現場力と技術力を磨きながら、安全・安心で快適な施設運営を支える修繕サービスを提供し、お客さまや社会から信頼される企業を目指してまいります。





掲載日：2026年10月6日